

2016年1月5日

Frost & Sullivan 社のアジア UCaaS プロバイダー評価レポートにおいて NTT コミュニケーションズが 2 年連続で「チャンピオン」の評価

NTT コミュニケーションズ(略称：NTT Com)は、Frost & Sullivan 社が発行した「Frost Industry Quotient (IQ) - Asia Pacific Hosted Telephony and Unified Communication Services Providers, 2015」レポートにおいて、市場シェアと将来の成長戦略に基づいた評価により、その双方が高い「チャンピオン」のポジションに 2 年連続で位置付けられました。

Frost & Sullivan 社のアジアにおける UCaaS(Unified Communications-as-a-Service)プロバイダーを対象とした IQ(Industry Quotient)レポートは、アジア地域における主要 UCaaS プロバイダー 11 社を対象に Frost & Sullivan 社が独自の調査方法に基づき市場シェア、プロダクト/サービス戦略、スタッフスキル戦略、エコシステム戦略、ビジネス戦略を評価するものです。同レポートは今回が 2 度目の発行となります。Frost & Sullivan 社は、NTT Com のアジア全域におけるシームレスな UC(Unified Communications)サービスと、柔軟性の高い SIP トランキングの提供により、大規模企業を獲得している点を高く評価しました。

Frost IQ: Asia Pacific Hosted Telephony and Unified Communication Services, 2015



[<クリックして拡大表示>](#)

レポート抜粋(英語のみ)は[こちら](#)より参照してください。

なお、NTT Com は、2015 年 6 月に同 Frost & Sullivan 社が開催した 2015 Frost & Sullivan Japan Excellence Awards においても「Japan Unified Communications-as-a-Service Provider of the Year」を 2 年連続で受賞しております。